

平成30年 1月 4日

基幹災害支援病院  
地域災害拠点病院 様山梨外傷研究会代表  
山梨県立中央病院  
救命救急センター  
岩瀬 史明

## 災害医療研修会「MCLS コース」の開催について(案内)

新春の候、平素は山梨外傷研究会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
大規模事故災害など多数傷病者発生時には、災害現場で消防、警察、自衛隊およびDMAT などの医療チームなど各組織が緊急参集し、円滑に連携する必要があります。災害現場医療活動に関する標準的研修として、日本集団災害医学会は、多数傷病者対応に関する医療対応の標準化トレーニングコースとしてMCLS(Mass Casualty Life Support)コースを開発しました。

平成23年 8月より正式コースを開催して平成30年1月1日現在、県内では、標準コース18回、マネージメントコース9回開催して738名が受講しました。内訳は、(消防506名、病院206名、警察14名、自衛隊9名、市防災関係2名、看護学生1名)です。

また、指導者養成インストラクターコース4回を開催して、平成30年1月1日現在の県内指導者は114名(インストラクターは67名、プレインストラクター47名)になりました。内訳は(医師9名、看護師26名、臨床工学士1名、理学療法士1名、救命士74名、消防士3名)です。県内でのMCLS普及につきましても、JPTEC(病院前外傷教育プログラム)同様に各消防本部のインストラクターの皆様にご協力いただき、定期的に開催することができましたことを心からお礼申し上げます。今後も県内でのMCLSコースを継続して開催するために、是非、指導者の養成ならびに運営につきましてもご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

今年度中のMCLSコースにつきましては、2月24日(土)インストラクターコース、2月25日(日)標準コースを開催することになりました。

つきましては、2月24日(土)インストラクターコース、2月25日(日)標準コースの受講者を募集いたしますので、貴所属職員の研修会受講をご検討いただき、また、本研修会開催に伴う指導者(MCLS インストラクター)の派遣及びタスク(MCLS プロバイダー)の運営協力につきましても、特段の御配慮をさせていただきますようお願い申し上げます。

なお、県内の一般病院及びDPC加算のない災害拠点病院からの受講者は、平成28年11月1日付山梨外傷研究会代表よりお知らせがありました「災害医療研修事業費補助金交付対象研修の実施について」のとおり、山梨県災害医療研修事業費補助金交付対象になり、受講料が免除となりますので、運営担当から「受講料免除申請書」を送付させていただきます。

各コース開催日時、会場をご確認の上、コース運営担当に申し込みをお願いします。  
次年度のMCLSコースにつきましては、おってご案内させていただきます。

**【指導者養成コース】**

**第5回山梨MCLS インストラクターコース**

開催日;平成30年 2月 24日(土)13:15~17:30 ※受付13:00~13:15

会場;山梨県立中央病院 2F 研修室

主催:山梨外傷研究会(YTEC)

CMD;山梨県立中央病院 岩瀬史明

CG;南アルプス市消防本部 依田重幸

SCC;富士吉田市立病院 渡邊京子

受講者定員:24名

締め切り 平成30年1月31日(水)

受講料;10,000 円(テキスト、認定料、登録手数料込)

※日本集団災害医学会会員は8,000円

受講資格は別紙参照

**< 受講申し込み先 >**

第5回山梨MCLSインストラクターコース運営担当

南アルプス市消防本部 依田重幸

アドレス [shige3yo@yahoo.co.jp](mailto:shige3yo@yahoo.co.jp)

件名【第5回山梨MCLSインストラクターコース受講希望】

コース受講希望者は別紙の申込フォーム(Excel)に必要事項を記入してメールで申し込みをお願いします。

応募受付のメールを3日以内に返信しますので、返信がない場合は担当まで連絡下さい。

**【標準コース】**

**第19回山梨MCLS 標準コース**

開催日;平成30年2月25日(日) 8:30~18:00 ※受付8:00~8:30

会場;山梨県立中央病院 2F 多目的ホール

主催;山梨外傷研究会(YTEC)

CMD;山梨県立中央病院 井上潤一

CC;富士吉田市立病院 渡邊京子

SCC;南アルプス市消防本部 依田重幸

受講者定員:36名

締め切り 平成30年1月31日(水)

(定員になり次第締め切り)

受講料;10,000 円(テキスト、認定料、登録手数料込)

受講資格は別紙参照

**< 受講申し込み先 >**

第19回山梨MCLS標準コース運営担当

アドレス

富士吉田市立病院 渡邊京子

件名【第19回山梨MCLS標準コース受講希望】

コース受講希望者は別紙の申込フォーム(Excel)に必要事項を記入してメールで申し込みをお願いします。

応募受付のメールを3日以内に返信しますので、返信がない場合は担当まで連絡下さい。

MCLS コースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

MCLS コースディレクター 山梨県立中央病院救命救急センター センター長 岩瀬 史明 E-mail <a href="mailto:fiwase2000@yahoo.co.jp">fiwase2000@yahoo.co.jp</a> TEL055-253-7111(代)
--

別紙

## MCLS インストラクターコース(試験なし)

### ア 目的

本研修は、MCLS インストラクターを志す者が、指導・認定等を適切に行う ために必要な知識と技能を習得するほか、MCLS 研修の運営に資することを 目的とする。

### イ 受講資格

本研修会の受講資格は、MCLS プロバイダー認定者のうち、次に掲げる者の いずれかであること。

(ア) 消防職員

(イ) 医師

(ウ) 歯科医師

(エ) 看護師及び准看護師

(オ) 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師及びその他の医療関係者 で 災害医療派遣業務に従事する者

(カ) 救急救命士

(キ) 警察官、海上保安官及び陸上自衛隊、海上自衛隊又は航空自衛隊 の 自衛官で救急業務、救助業務又は災害医療派遣業務に従事する者

(ク) 防災業務に携わる者

(ケ) その他、運営委員会が認める者

## MCLS標準コース(試験あり)

### 【受講資格】

消防や警察など、災害のファーストリスポンダー(初期対応者)となりうる要員を対象

- ① 消防職員
- ② 医師
- ③ 歯科医師
- ④ 看護師及び准看護師
- ⑤ 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師及びその他の医療関係者で、  
災害医療派遣業務に従事するもの
- ⑥ 救急救命士
- ⑦ 警察官、海上保安官及び陸上自衛隊、海上自衛隊又は航空自衛隊の自衛官で、  
救急業務、救助業務又は災害医療派遣業務に従事するもの
- ⑧ 救急救命士法第34条第1号から第3号までの規定に基づき、救急救命士の受験資格を  
得ることができる学校、  
若しくは救急救命士養成所、大学医学部又は看護学部及び看護学校(准看護学校を含む)の  
学生又は生徒
- ⑨ 防災業務に携わる担当者
- ⑩ その他、運営委員会が認めるもの

### 【MCLSの目的】

MCLSの目的は、消防職員・警察職員などが、災害現場で実施するべき医療について理解を深めることです。

災害現場医療に興味のある医療従事者(医師・看護師・コメディカル・病院事務官など)に、トレーニングの機会を提供します。

### 【一般目標】

災害現場で実施するべき医療について理解を深め、避けえた災害死を回避する。

### 【行動目標】

- (1) 災害・多数傷病者に関する基礎的な知識を習得する。
- (2) 災害現場対応の原則を理解し実践する。
- (3) 先着隊の活動ができる。
- (4) 災害現場医療の3T(Triage、Treatment、Transportation)を理解し実践する。
- (5) 各トリアージを理解し実践できる。
- (6) 現場救護所の設置・運営ができる。
- (7) 災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team; DMAT)の現場活動を理解し連携できる。

## MCIS標準コースカリキュラム

### 1. 座学

(ア) 災害医療・多数傷病者対応とは

① 「多数傷病者対応概論」

② 「災害時医療対応の原則」

③ 「DMATとは」

(イ) 現場・応急救護所における災害・多数傷病者への救助・医療活動

① 「災害時の現場医療(3T:トリアージ、応急処置、搬送)」

### 2. 机上シミュレーション

(ア) 現場における先着隊の役割

(イ) 多数傷病者対応(CSCA)

(ウ) 現場救護所の運営(3T)

(エ) トリアージ

### 3. 実技訓練

(ア) トリアージの記入方法「トリアージタグ記入法」

(イ) 現場・応急救護所におけるトリアージ(START)

### 4. 実技試験

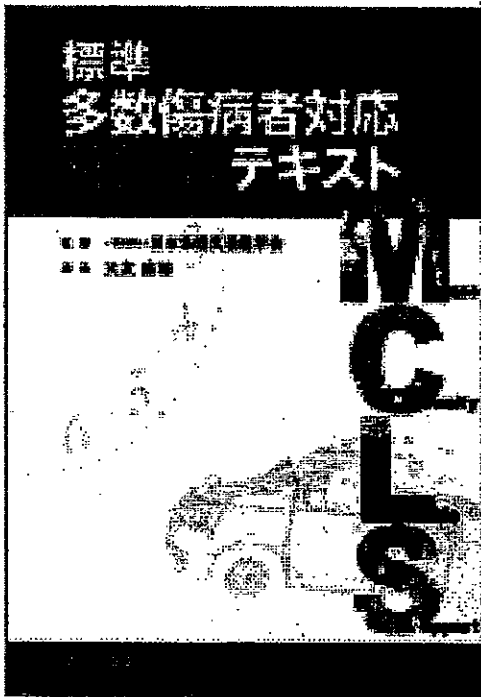
### 5. 筆記試験

## MCLS参考書籍の御案内

受講料に含まれていますMCLSコース受講者テキストは当日配布いたします。

各自で購入して事前学習の参考にしてください。

標準多数傷病者対応MCLSテキスト



- [ 監修 ] 一般社団法人日本集団災害医学会
- [ 編集 ] 大友康裕
- [ 発行年 ] 2014 年 5 月 1 日
- [ 分類 ] 救急医学
- [ 仕様 ] A4 判 本文82 頁
- [ 定価 ] 本体2,000 円+税
- [ 出版社 ] ぱーそん書房

受講申し込みフォーム

	必須	必須	必須	必須	必須	必須	必須
	受講コース	受講日	氏名	フリガナ	氏名のアルファベット	生年月日(西暦)	必須 所属在住都道府県名
1							
2							
3							
4							
5							

★ 右側に受講料の支払い方法があります。  
 現在下記コースの受講者を募集中です。  
 コース開催日等をお間違えの無いように確認して申し込みをお願いします。  
 消防本部、病院等で取りまとめて申し込み可能ですが、受講者個人アドレスは必ず記載してください。  
 各コース別に、担当まで申し込みをお願いします。  
 件名【0000コース受講申し込み】

1) 第5回山梨MCLSインストラクターコース・・・試験なし  
 開催日：平成30年2月24日(土)13:15～18:30 ※受付13:00～  
 会場：山梨県立中央病院  
 受講料：10,000円 ※日本集団災害医学会会員は8,000円  
 受講申し込み先  
 南アルプス市消防本部 依田重幸  
 shige3yo@yahoo.co.jp  
 (申し込み期日、平成30年1月31日)

2) 第19回山梨MCLS標準コース・・・試験あり  
 開催日：平成30年2月25日(日)8:30～18:00 ※受付8:00～  
 会場：山梨県立中央病院  
 受講料：10,000円 ※日本集団災害医学会会員は8,000円  
 受講申し込み先  
 富士吉田市立病院 渡邊京子  
 pandakino@yahoo.co.jp  
 (申し込み期日、平成30年1月31日)



受講申し込みフォーム

必須	必須	必須	必須	必須	必須
勤務先郵便番号	勤務先住所	所属(病院名、消防本部名)	勤務先(〇〇救命センター、〇〇出張所)	勤務先電話番号	自宅郵便番号*

受講申し込みフォーム

*は必須でない(郵送先を自宅希望の場合に記入)			必須
自宅住所*	自宅電話番号*	携帯電話番号*	メールアドレス

受講申し込みフォーム

保有者	必須	必須	必須	必須	必須(イン)
医療資格	役職	保有インストラクター資格(ICLSなど)	JPTEC資格	DMAT資格	プロバイダ番号

学会入会者  
日本集団災害医学学会  
会員番号

受講申し込みフォーム

ストラクチャーコース受講者のみ		必須
受講標準コース名	標準コース受講年月日(西暦)	受講料の支払い方法 (自費=当日支払い/公費=振込)

**MCLS標準コース受講資格**

- ① 消防職員
- ② 医師
- ③ 歯科医師
- ④ 看護師及び准看護師
- ⑤ 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師及びその他の医療関係者で、災害医療派遣業務に従事するもの
- ⑥ 救急救命士
- ⑦ 警察官、海上保安官及び陸上自衛隊、海上自衛隊又は航空自衛隊の自衛官で、救急業務、救助業務又は災害医療派遣業務に従事するもの
- ⑧ 救急救命士法第34条第1号から第3号までの規定に基づき、救急救命士の受験資格を得ることができる学校、若しくは救急救命士養成所、大学医学部又は看護学部及び看護学校（看護学校を含む）の学生又は生徒
- ⑨ 防災業務に携わる担当者
- ⑩ その他、運営委員会が認めるもの

**MCLSマネージメントコース受講者**

- ア 目的  
本研修会は、災害現場活動を指揮・管理する者に対して行うことを目的とする。
- イ 受講資格  
本研修会の受講資格は、MCLS 標準コース受講資格者を有する者のうち、本研修会の目的に合致した者とする。

**MCLS インストラクターコース**

- ア 目的  
本研修は、MCLS インストラクターを志す者が、指導・認定等を適切に行うために必要な知識と技能を習得するほか、MCLS 研修の運営に資することを目的とする。
  - イ 受講資格  
本研修会の受講資格は、MCLS プロバイダー認定者のうち、次に掲げる者のいずれかであること。
- (ア) 消防職員
  - (イ) 医師
  - (ウ) 歯科医師
  - (エ) 看護師及び准看護師
  - (オ) 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師及びその他の医療関係者 で災害医療派遣業務に従事する者
  - (カ) 救急救命士
  - (キ) 警察官、海上保安官及び陸上自衛隊、海上自衛隊又は航空自衛隊の自衛官で救急業務、救助業務又は災害医療派遣業務に従事する者
  - (ク) 防災業務に携わる者
  - (ケ) その他、運営委員会が認める者

平成 29 年 4 月 1 日

山梨外傷研究会 代表  
山梨県立中央病院  
救命救急センター長  
岩瀬 史明

災害医療研修事業費補助金交付対象研修の実施について（お知らせ）

山梨外傷研究会では、災害時の医療救護体制の確保を目的としたMCLS研修（標準コース）を実施しておりますが、平成 28 年 11 月開催コースより、山梨県から災害医療研修事業費補助金交付要綱に基づき、補助金交付対象事業として交付決定を受けることとなりました。

1) 災害医療研修事業費補助金交付対象研修

災害医療研修（MCLS 標準コース）

2) 災害医療研修事業費補助金交付対象事業期間（平成 30 年度については決定次第お知らせします）

平成 29 年度：4 月から 3 月開催コースまで

3) 受講料免除対象病院

県内の一般病院及びDPC加算のない災害拠点病院

平成 29 年 4 月現在補助対象外の病院は次の 7 病院になります。

1. 山梨県立中央病院（基幹拠点、平成 20 年度 DPC 参加）
2. 山梨大学医学部附属病院（基幹支援 平成 15 年度 DPC 参加）
3. 山梨赤十字病院（基幹支援 平成 20 年度 DPC 参加）
4. 市立甲府病院（中北地域拠点 平成 21 年度 DPC 参加）
5. 山梨厚生病院（峡東地域拠点 平成 28 年度 DPC 参加）
6. 笛吹中央病院（峡東地域拠点 平成 21 年度 DPC 参加）
7. 富士吉田市立病院（富士・東部地域拠点 平成 21 年度 DPC 参加）

上記の 7 病院以外の県内病院からの研修受講者は、受講料が免除になります。

※病院のみ対象のため診療所、クリニック等は対象外となります。

※DPC 制度とは、平成 15 年に導入された急性期入院医療を対象とした診療報酬の包括評価制度のことです。

4) 受講料免除対象人数（平成 30 年度については決定次第お知らせします）

平成 29 年度：90 名

該当病院からの受講者には、災害医療研修（MCLS）運営担当から、受講料免除申請書を送付します。